議題６

<table>
<tr><td>区分</td><td colspan="4">■ 新　規　　□ 再提案　（　・　・　第　　回総会；　　市）</td></tr>
<tr><td>種類</td><td colspan="2">■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの
□ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの
□ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの
□ その他（　　）</td><td>分野</td><td>■ 総務文教
□ 社会環境
□ 経済
□ 危機管理建設</td></tr>
<tr><td rowspan="3">要望先</td><td>□ 国</td><td>担当省庁</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>■ 県</td><td>担当部局課室</td><td colspan="2">教育委員会　義務教育課</td></tr>
<tr><td>□ その他</td><td>名　　称</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

件名	**「欠員対策のための教員配置事業」におけるサポートに入る教員の増員について**
提案市	須坂市・長野市
提案要旨	令和５年度（2023 年度）から県の事業としてスタートした「欠員対策のための教員配置事業」について、学校現場の需要を満たすよう、サポートに入る教員（欠員対策教員）の増員を要望する。
提案理由	この事業は、年度途中の急な休職等による欠員の発生に対応することで、児童生徒の学びへの影響や教員の負担軽減を図る優れた施策であると考えられるが、現在、東信、南信、中信、北信の各地区に一人ずつ、全県で４人しか配置されておらず、多発する欠員発生に対し、サポート教員の派遣が間に合っていない。
現況及び課題等	・須坂市内の小中学校では、今年度に入ってからの急な休職・退職が５人発生している。代替職員がなかなか見つからず、１校では１カ月間欠員状態が続いた。学校サポートの派遣は間に合わなかった。 ・県では男性の育休取得を推奨しているが、あらかじめ計画的に取得する女性の産休・育休と違い、男性の場合、急に育休取得申請が提出されて欠員となるケースが増えている。 ・長野市内の小中学校では、年度途中の急な療休・休職・退職・産育休が多く発生している。短期間で欠員補充による教員探しは困難であり、常に３名から６名の欠員が生じている。補充を探す学校長の負担や補充が見つかるまで授業に入る教頭や教員の負担が大きいのが現状である。
関係法令	